

# 中国人殉難者慰霊祭へご参加を

玉野市日比の観音院常光寺で、中国人殉難者の慰霊祭が開かれます。

先の戦争末期、日本に強制連行され労働を強いられた中国人は全国で約2万9千人。そのほぼ一割を越える人が、貴重な命を失いました。

岡山では、玉野市三井金属日比精錬所へ連行された133人のうち、苛酷な労働下で命を落としたりした人は25人。その御霊が、常光寺に祭られています。

常光寺には慰霊のための鎮魂の鐘が建立されて、日ごと日比の町に鐘の音が鳴りわたります。この7年間毎年、日本人の戦

没者とともに弔うこの25人の中国人慰霊祭が開かれ、日中・岡山支部からも欠かさず参列しています。

今年はこの2月新しく中国大阪領事館へ赴任された羅田廣総領事も参加される慰霊祭が計画されています。

慰霊とともに、不戦の誓いを新にするこの行事へ、会員の皆さんもぜひご参列されることをご案内します。お申し込みください。いっしょに行きましょう。

とき:5月25日(木)

午前10時～11時

ところ:観音院 常光寺

玉野市日比二一―十二



玉野日比観音院常光寺の鎮魂の鐘

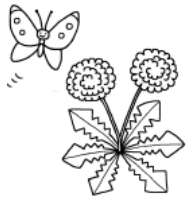
## ご案内 日中友好協会の 全国大会と 岡山支部総会

日中友好協会は1950年10月1日、東京で結成されました。初代理事長は岡山県出身の内山完造氏でした。この5月20日～21日に第55回全国大会が開かれます。

りますので、質問やご意見を5月半ばまでにお聞かせください。また会員の大会参加を募っておりますので、ご希望のむきは早めにお申し込みをお願いいたします。

て、6月11日(日)午前10時から12時の予定で、協立病院(岡山市赤坂本町8の10)うらのコムコムホール3階会議室で、総会を開きます。

なお、昼から平和七夕まつりの折り鶴を吹流しにする作業をします。おおいのみなさんのお力添えをお願いします。75羽の鶴を糸に通したものをもってきてください。



## 東京地裁あて 署名にご協力を

5月24日が第一次締め切り 再度のお願い

3月25日付のニュースでお願いした、東京地裁の裁判官あての公正判決を求める要請署名には各方面のご協力により4月28日現在833筆が集まっています。

岡山・倉敷・総社 各地の原告が、先頭に立ち約400筆を集めています。

岡山県民主医療機関連合会は、関係組織に通知を出して、約150筆が小生宅に送られてきました。人権岡山は、5月20日の大会で参加者に署名を呼びかける予定です。

全国的には、5月24日に東京地裁に十筆を積み上げ、裁判官に公正な判決を下せる勇気を与えようかとがんばっています。

岡山支部のみなさん。再度署名用紙を同封しますので、ぜひご協力のほどをお願いします。

### 中国 残留日本人孤児」 訴訟の勝利をめざす 全国統一行動

#### 東京で千人のデモ行進

5月24日の東京地裁結審。神戸地裁の7月13日結審。つづく名古屋、京都、高知、札幌などぞくぞくと年内結審が伝えられています。そのために何としても勝利を勝ち取りたいと、東京でのデモ行進が計画されています。

5月23日 午後1時半

東京・港区芝公園 4号地前デモ行進後に厚生労働省前で「座り込み」が計画されています。

夜は「全国総決起大会」が開かれます。

5月23日 午後6時半、8時半

日比谷公会堂

岡山県からは、この全国統一行動に、原告団の高見事務局長、支える会の竹内副会長、小林事務局長の3人が参加します。デモや決起大会の様子は、日中・岡山支

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rzhong.web.infoseek.co.jp>  
新・メールアドレス  
rzhong86@hotmail.co.jp



### さんかくウィーク2006

(6月21日～27日)

#### 今年の企画決まる

岡山市の男女共同参画の運動。

今144の団体が参加しています。主な行事日程は以下のとおりです。

#### 記念イベント

男も女も「Happiness」ライフ！

くもっと家族を楽しみたい人にく

講演とライブ

\*タケカワユキヒデさん

6月25日(日) 13時～15時

岡山市立文化ホール(小橋町)

参加費無料・申し込みが必要

#### 市民のライブと講演

\*みんながアピールちゃちゃつとライブ

14市民団体が参加

\*講演 世界がもし100人の村だったらから見えるもの

講師\*池田香代子さん

7月1日(土) 15時～16時半

市民の団体のライブは 10時45分から

西川アイプラザ(幸町)

参加費無料・申し込みが必要

#### 岡山支部と岡山市共同主催の講演会

日本と中国の子育て

中国からみた日本の三歳児神話

講師\*姜波さん

(川崎医療福祉大学教授)

6月24日(土) 14時～16時

さんかく岡山会議室(表町)

参加費無料・申し込みが必要

(日中・岡山第77回文化講座)

部の総会(6月11日)でくわしく報告する

予定です。それまでに多くの署名を集めて

東京に持って行きたいと思っていますので、

皆さんの再度のご協力を重ねてお願いし

ます。

赤林

ありがとう!!!

# 日中岡山の皆さん

須田友喜



理事として、中国語講座の研究クラスの一人として、帰国者のための日本語教室講師として、そのほか多方面で活躍し、その係った全ての人に慕われた人。須田さんからお別れのことばが送られてきました。  
彼女の温かいことばは、日中・岡山の活動の一端となっています。

4月13日、日中友好協会にかかわる皆さんに、心温まる素敵な送別会を開いていただき、3年間暮らした岡山を離れ大阪に引越しました。

3年前の2月の終わりごろ、夫に岡山転勤を告げられた時は「え？岡山？最悪。中国語どこで習うの？」(岡山の皆さんゴメンなさい)と、とてもガツカリしたことをよく覚えています。ところが、私の予想は見事にはずれたのです。引越しの片付けが一段落した私は、先ずインターネットで中国語教室を探すことにしました。

岡山 中国語のキーワードで検索すると、ズバリとホームページが並んでいました。少し期待を膨らませながら一つ一つチェックしていくと、なんとそれらのほとんど全てが日中友好協会岡山支部のホームページにたどりつくようになっていました。戸惑いを感じながらも私は、中国語講座の見学に行くことにしました。  
その時、澤山さんの「らっしやいませ」という笑顔が嬉しくて、見学した中国語講座も気に入ったので、その日のうちに参加を決めました。思えばこの時が、私と日中岡山との運命的な出会いだったのです。

彼らとの付き合いは何の飾りも必要とせず、とてもリラックスできるもので、かえって私のほうが学ぶことが多かったように思います。

理事会に関しては、参加することになり抵抗を感じていました。堅苦しくて難しい話を延々としているんだらうなと勝手に想像していたからです。ところが、行ってみると堅苦しくも難しくもなく、おじさん(スミマセン)たちが色々なことを話していました。今どき、こんなに真面目に、しかもボランティアでこんな話し合いをしている人たちがいるんだということに感動しました。

中国語講座をきっかけに、料理教室や文化講座など、暇にまかせて参加しているうちに、色々な人との出会いが生まれました。また日本語講師や、理事会など次々と色々なところに首を突っ込み、とても楽しい経験をすることができました。  
そういうえば、帰国者のための日本語教室が始まった頃は、講師も生徒も少し緊張してなかなかうちとけられない雰囲気だったのですが、だんだんと慣れて親しくなるにつれ、授業そっちのけで無駄話に興じることもしばしばでした。

ここでは書きつくせないくらいに岡山では、かけがえのない出会いにたくさんめぐまれました。愛すべき友人たちと別れるのは本当につらいものです。岡山に来たときには、自分の中にまさかこんな気持ちが生えるなんて夢にも思っていませんでした。  
たとえ離れていても、友情はこれからもずっと続くと信じています。本当にありがとう、岡山!!!

## 中国の介護事情

姜波先生による中国事情 ③

一人つ子政策を背景に、中国は今世紀30年代から高齢者人口が4億人になるかと予測されている。しかし未だに老人福祉環境が整備されていない中国では、お年寄りがどのように老後生活を送ろうとしているのだろうか。

中国の介護事情は大きく分けて親族介護、施設介護、在宅介護の三パターンとなっている。  
その1、親族介護は自宅で家族



介護施設にて

会では伝統的な考案方を更新するには時間がかかる。  
その3、在宅介護は政府が出資してホームヘルパーの養成を行い、在宅介護のマニュアルを作成し、看板を出して在宅介護のサービスを提供する。在宅介護は施設介護より値段が安く、専門職の人が介護に携わる。  
これは中国の高齢者に最も適切なサービスだと中国社会科学院老年科学研究所会長の熊必俊教授が言っている。  
大連市に住む楊さん(44歳)はリストラされて何年にもなる。なかなか再就職できなかったがやっと今年3月めでたくホームヘルパーという職に就くことができた。ここ数年お年寄りの数が増え、低収入の高齢者の介護が大きな社会問題となっている。その一方でリストラされた女性の就職難も深刻である。

われている中国では、子供が親の面倒を見なければ、親不孝と非難されるのである。  
その2、施設介護は養老院や高齢者住宅に入居することを指す。費用が高いために限られた人しか利用できない。ここ数年、各地では介護事業が展開され、よいサービスを提供する養老院が増え、次第に多くの人々が施設介護を受け入れるようになってきた。柏さん(86歳)は、幹部出身だったので年金収入がある。彼は重慶市第三社会福利院に入居して「ここは生活環境が快適で、不自由しない」と言っている。当初彼が施設に入居しようとした時、まづ子どもを施設につれて行き、見学をさせ納得してもらった。  
そして自分が施設介護を選択したために、子供たちは親不孝だと言われるのではないかと心配して、マイクロバスを借りて親戚一同と近隣にも施設を見学してもらって全員の賛同を得た。中国の社



介護住宅にて

今回の新聞送作業は5月22日(月)午後1時半、民主会館2階で行ないます。前回お手伝いくださった方々です。  
林和 内装  
小澤竹 竹服三



南京・舍利塔

この二つの問題を抱えた大連市民政局は、2002年から在宅介護支援サービスをスタートさせた。高齢者の介護の問題も、リストラされた女性の再就職の問題も解決でき、一石二鳥とも言えるこのサービスが有効的なものとなっている。  
ヘルパーの養成を受けた楊さんは一人前になり、90歳のお年寄り二名を任されている。家事全般を担当しながらお年寄りの世間話にも加わっている。精神的にも物理的にも、お年寄りを支援するのが楊さんの仕事である。  
お年寄りは、楊さんが来て以来毎日が楽しくなり助かります」と満足げに話す、楊さんは誰かが年を取ります、お年寄りのために何か援助でき、再就職もできてよかった」と笑みをこぼしたのが印象的である。  
近年、このような在宅介護サービスは広州・上海・杭州などの大都会で広く展開されている。岡山の旭川荘が、上海の芦湾区のために介護人材の育成と技術支援をしていることは、中国でも多くの人に知られている。中国全土を見ると、高齢者の社会保障システム、介護人材を本格的に育成する教育、介護技術や介護器具の開発が早期に確立されるよう期待している。